

愛の輪

第 38 号

発行 豊郷町老人クラブ連合会
 編集 豊郷町老ク連広報部
 豊郷町老ク連事務局
 豊郷町石畑518
 豊郷小学校旧校舎棟内
 TEL(0749)35-3632
 FAX(0749)35-3638



シニア&キッズ交流会



オータムフェスティバル



ふれあい



もちつき大会



豊小交流会



豊郷町長
伊藤 定 勉

木々の緑、日ごとに色めく季節となつてまいりました。皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
 平素は、高齢者福祉施策をはじめあらゆる施策の推進に対し、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
 さて、昨年は相次いで台風が上陸し、各地で被害があり、豊郷町でも多大な被害を受けました。
 毎年各字でも防災訓練を実施されており、昨年の訓練の内容におきましても要支援者に対する支援の方法等を取り入れるなど、災害が身近なものとして感じられていることに防災意識の高さを感じることができました。行政におきましても防災行政をますます充実させるために取り組んでおります。



豊郷町老人クラブ連合会
会 長
青山 憲 三

昨年、四月に会長一年目をスタートし早いものでもう終えようとしております。
 私達を取り巻く環境は、数十年前と比べると大多数の方が年金を受給され、経済的物質的に豊かになり、行政の各種のケアによる健康管理等々、政策により健康で長寿社会となり、老人として長い時間充てられ、個人の過ごし方も多様化され、その生き方を尊重される時代になったように思います。
 地区老人会に於いては、会員の入会者も少なく、高齢化し、役員の受任者が二

度目三度目になりつつあり、今後の運営が困難な状況で、如何にして継続していくか近々の課題を抱えているのが現状でないかと推察いたします。
 この様な時、老人クラブ連合会は各事業につきましても、できるだけご負担をかけぬよう事業の見直し、今後の連合会のあり方等々、今後の課題を会員の皆様と共に考え模索しながら進めなければならぬと思います。
 理事役員、会員の皆様のご多大のご支援協力頂きました事に心から深く感謝申し上げます。

また、老人クラブ連合会の皆様には、健康づくり・地域支え合い等さまざまな事業に対し、皆様の経験や知識がそこに生かされ、また団体の一員としての自覚を基に活躍されていることに心から敬意を表す次第であります。
 町行政におきましても、皆様のお力添えをいただきながら「地域で高齢者等が安心して暮らせる社会」の構築に努めてまいりますので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。
 本年が貴連合会の皆様にとりまして幸多い年となりますよう心よりご祈念申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

総務部代表理事

北川 金之助

十月十二日「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をテーマに多数の会員が豊栄のさと文化ホールに集まり豊郷町老人クラブ大会を開催しました。青山会長の挨拶に始まり伊藤定勉町長らご来賓のご祝辞を頂戴しました。

表彰では育成功労者、福祉篤行者、四世代同居家族の方、金婚者、米寿の方には記念品が贈られました。講演では彦根警察署「振り込め詐欺に遭わないために」のお話で我々高齢者にとってうなずける話でした。また、休憩の後、滋賀県警察音楽隊の演奏で楽しい愉快な時間を過ごしました。そして、最後副会長の閉会の言葉で無事終了しました。この大会も多くの裏方さんのご協力があってこそ成功の内に終えられたと喜んでおります。



女性部兼研修部代表理事

伊藤 智恵子

七月に廃油の再利用石鹸を使ってバラ作り体験をしました。作り方は子供のときの粘土工作の技法と同じで、石鹸に色粉をふり練って練って伸ばし花びらを何枚も重ねて、素敵なバラの花のできあがりです。オートムフェスティバルに老人会

女性部として出展しました。十月には昨年のれんこん掘り体験が好評で、愛知県に行きました。現地では雨靴で入れて長く伸びたれんこんを傷つけないように、スコップで少しずつ掘り「見てこんな太い長いれんこん取れたわよ」と笑顔です。昼食は「光を見通す縁起がよい」れんこん食材の料理で美味しくいただきました。帰路の途中で千代保稲荷に寄り、会員の皆々様のご健康とますますのご活躍をお祈り致しました。この一年ご協力を賜りましてありがとうございます。



広報部代表理事

西山 和代

本年度、広報部の代表をお受けして一年が過ぎようとしています。お陰様で良き仲間にも恵まれ、当初戸惑いながらも編集・発行等、部員の皆様には、その都度支え助けていただきながら楽しく広報活動をする事が出来ました。

今、団体活動が縮小され、活動維持が困難な時代になりました。時代の変化により老人会でも会員数が減少し老人会組織も他人事ではないと思います。私達皆、現役を離れ、自分の時間が多くなる中で社会に役立つ、自分を必要としてくれる場所を見つけて健康で楽しい時間を過ごせるのであれば、それに勝るものはないと思います。「愛の輪」で同じような悩みを持つ会員様の意見を参考に発信させて頂いたらと思います。最後になりましたが、各々の役員の皆様、発行に際しては、大変お世話になりました。



体育部代表理事

浦部 善弘

例年実施されているニュースポーツ大会について。六月十五日豊かな高齢期を過ごすには日頃からの健康づくりに対する実践活動が必要で、健康増進の為、さらに仲間との交流も深める為、開催しました。午前中のグラウンドゴルフは雨で中止、午後からデイスコン・ガラッキー・ワナゲを室内で実施し、各クラブの熱戦には目を見張るものがありました。

ワナゲは個人競技でありどういう技術が必要とされるかでした。集中力と冷静さでしょうか？その他の競技はクラブ対抗で皆さん手慣れたものでその技術は年々上手くなっている様に感じました。応援の方が白熱されていた、そんな場面も見られました。



豊郷シニアGGクラブ会長

西山 幸治

豊郷シニアGGクラブは、発足以来八年を迎えました。今日まで会員皆様のふれあいの場として活動できたことに感謝申し上げます。今年度も、年間五回の月例会・六月に第十四回大会・十一月に第十五回大会を盛大に開催することができました。

又、七月には町外遠征で五十六名の参加者で今年もクレフィール湖東へ出掛けてGG大会を行い、表彰式の後の懇親会では、成績や技術談話に花を咲かせ楽しく交流を深めて頂きました。又、十一月二十七日には、年忘れGG大会を土山の大河原GG場で行い、山あり谷ありの難コースに悪戦苦闘しながらも和やかにプレーが行われ、かもしか荘で少し早い忘年会を楽しみました。その他、犬上三町親睦GG大会・老ク連ニュースポーツGG大会（雨天中止）・町体協やアザツクの大会にも多数の方に参加頂きました。



地域の活動だより

寿会1年の活動状況

石畑老人クラブ 伊藤 敬造

年度初めに役員会で多数参加して頂けるような事業計画を立て総会で承認後スタートします。老人クラブでの三大運動を柱に包括支援センター、豊郷駐在所、社会福祉協議会等いろいろな方のご支援やご協力を頂き健康づくり、認知症対策、交通安全や振り込め詐欺等を学びました。駐在所の藤田さんのお話の折には楽しい演奏もして頂きました。その他年4回の奉仕作業や日赤奉仕団との交流会、お盆前には会員物故者追悼法要を勤め、年8回の食事会を開催、その他区行事への参加と毎月活動しました。今年度の研修旅行は「われは湖の子〜」で知られる琵琶湖周航資料館の見学に行き、先人の偉大なる業績に感心しました。ジャンル別に周航の歌を開けるコーナーもあってひとしきり楽しんだあと、メタセコイア並木を散策し楽しいひと時を過ごしました。今後は今までの研修をもとに少しでも地域活動に貢献できるように努めたいと思います。



しらふじ会活動報告

上枝老人クラブ 高野瀬 東仙

当字老人会しらふじ会の会員は22名。会員数は少なく新会員の加入もここ2〜3年ありません。しかし字行事には積極的に参加し、字内の人々と交流を図っています。平成30年度は台風被害の多い年となりました。例年清掃奉仕を実施しておりますが、今年度は字内の若宮神社の清掃作業を実施しました。落ち葉や強風で折れ落下した枝が多く、例年の2倍3倍の時間をかけて清掃しました。高齢のため力仕事は苦手ではありますが、これまでの経験値がありますので、黙っていてもどンドン仕事ははかどり、本当にきれいにしてもらうことができました。これからも大幅な会員増加は望めないかもしれませんが、お互いの健康に気を使いながら、行事には積極的な参加と、お役に立てる奉仕活動を続けていきたいと思っております。



いきいき健康、友愛、奉仕活動ご報告

四十九院老人クラブ 藤野 雅也

四十九院老人クラブの担当責任者は、町老ク連からの年間行事を頂き照合し、当クラブの計画の日程を事業ごとに割り振り実施するが、当クラブ内では町老ク連の大きな事業の変化がない限りほぼ前年の踏襲である。これらの承認は新年度総会(追悼会含む)で承認を頂き、以後は三役、九班(12名)が四半期ごとに集まり情報交換。当然当クラブの目的である「健康・友愛・奉仕」事業を計画に従い機械的に進める。健康：区民運動会、グラウンドゴルフ等。友愛：親睦会、新年会・忘年会(カラオケ、ビンゴゲーム)6回/年は、笑顔で、楽しい給食活動(写真参)。奉仕：地域美化活動(大道、新幹線下の空ビン、缶、ゴミ)収集、葉刈り。これらの奉仕活動に最近付加したのが少子化で氏子さんの催事毎のお世話をする元気はつらつな会員、六人衆の参加です。いい経験有難うございました。末筆ではございますが町老ク連の活動に於いては中学時代の同窓会の仲間にも勇気付けられ、松寿会会員の皆様には温かいご支持、ご協力を賜りました事厚く御礼申し上げます。有難うございました。



千枝里会活動報告

下枝老人クラブ 浦部 善弘

年間5回、例会と同時に親睦を兼ねて食事会を実施します。身体の状態、余生についての貴方の考え、私の取り組み等話に熱が入ります。第2回例会では社協から講師をお願いし認知症の正しい知識と気づきのチェックの学習。友達に認知症の人がいます。こんな声をよく聞きます。なったらどうしよう少しでもならない為にも学習が必要と思っております。第3回例会は信楽へ町のドリームバスで陶芸教室を計画実施。約一時間半の教室で世界に一つしかない私の宝物を製作し参加者は実に満足されていきました。作品は豊郷駅やオータムフェスティバルの展示に利用しよう話題になっていました。第5回例会にも社協の講師を招き再度認知症の学習をします、最後にもっと仲間を増やしたいのが現状です。



ゆかいな仲間の活動を振り返って

安食南老人クラブ 伏木 多門

当老人会におきましても世相にもれず会員様の高齢化を避ける事ができず、会員そろっての活動が難しくなってきました。そのため必然的に食事会が行事の内容の主軸となっています。それでもその中で若い数人の会員の皆様、工夫を凝らして単調な物とならない様考えて下さっています。又、町の包括支援センターのご協力の下「熱中症予防」や「認知症予防と転倒や骨折しない予防体操」等の勉強会も実施することができました。また「回想法」を実施して、昔、鋏頭として頑張ってきた時代、物不足でご苦労をいただいた時の話に花を咲かせ、お話の輪の中に皆んなが入って楽しんでおられます。いろいろと活動する上で課題もありますが、現在の状況の中で充実した内容とする為にできるだけ、皆様に喜んでいただける老人クラブとなれる様、助け合いながら続けて行きたいと願っています。



心からの交流

沢老人クラブ 澤 好成

年間の恒例行事を事故もなく、無事に終了したこと、ひとえに会員皆様のご支援とご協力のお蔭と厚くお礼申し上げます。一方、何か新規な取組みが出来たのかと問われれば、残念ながら打ち出せませんでした。それなりのパワーが必要かもしれませんね。ただ、各種行事を通じて、皆さんが心からの交流をしていただけたことと思います。普段の野菜づくりや、お米の収穫についての話題から、村の発展のためにどうすればよいか、後継者を育てるにはどうすればよいか、それは真剣な語りになっていました。最後は自らの健康状態について述べあうこととなりますが、これもまた大事なことです。沢老人クラブの行事としては、年2回の天満宮周辺の清掃作業、春秋の花壇植え付け(春は優秀賞を受賞)、6月には日帰り親睦旅行で琵琶湖一周、菊見会と出前講座、新年会と出前講座を行っています。



みんなで元気に和気あいあいと

吉田老人クラブ 渡邊 隆・三木忠行

吉田老人クラブは今年度 82 名の会員でスタートしました。主な活動は、

- ① お食事会と新年会
- ② 愛知神社と区墓地の除草・清掃
- ③ 花壇の植え付け・手入れ
- ④ 当面する問題の学習 (健康維持、交通安全、詐欺被害、…)
- ⑤ 日帰り旅行 …など、です。

活動の力点は、『みんなで元気に和気あいあいと過ごせるように』です。
 “50 年位前までの吉田での生活を思い出そう”では、次から次へと話が繋がり、若かりし頃が蘇りました。
 また“コースターをつくらう”や“お菓子皿をつくらう”では、身近にあるロープや紙で、身近に使える品物を作りました。



幸せ会一年の歩み

雨降野老人クラブ 西澤 清正

当クラブでは、3 月上旬に通常総会で今年度の方針が承認されます。毎月 10 日の定例会、会員親睦旅行、毎月の誕生日会、物故者追悼法要等の年間行事があります。

また、包括支援センターにて健康体操・食事改善・認知症などの研修を企画し、小学生との交流など、たくさんの会員に参加して頂くことが出来ました。

今年の親睦旅行の行先は、片山津ながやま。参加された 30 名の皆様と楽しい一日を共有させていただきました。他には、農道清掃作業、今年度優良賞をいただいた花壇の整備、グラウンドゴルフ、冠句クラブ等の趣味の活動も多岐にわたって行っています。

残念ながら今年度は多くの方がお亡くなりになりました。新会員の入会を増やしクラブの活動を盛り上げていくことが今後の課題です。無理をせず健康に留意し、地域社会に少しでも貢献できるよう今後も頑張っていきたいと思っております。



体にも、心にも栄養を

杉老人クラブ 今村 一夫

年を重ねていくにつれ、外に出かけることがだんだん面倒になってくるものです。かといって、家に閉じこもっていると、足腰も弱くなって転びやすくなるのではと、人と話す機会が減って気分もすぐれなくなり、うつ傾向になるのではという心配も出てきます。

杉区では、毎月、『集会所での食事会』を継続してきていますが、「外に出かけ、人と話し合う」きっかけ作りとしても、大事な活動だと考えています。手作りの美味しい食事で体に栄養をつけ、和気藹々とした雰囲気の中でお互いの近況や世間話などを話し合うことで、心にも栄養をつけることができます。

動ける体、明るい心を、長く持ち続けられるよう、これからも『健康・友愛・奉仕』をめざす老人クラブの活動を大事にしていきたいと思っています。

老人会研修旅行

八町老人会クラブ 北川金之助

10 月 25 日三重県なばなの里へ研修旅行に八町を出発しました。彦根インターより名神高速道路養老サービスエリアで休憩、久々の名神の研修旅行まわりの景色を楽しみながらのバス観光、なばなの里での昼食を済ませてペゴニアガーデン内を散策。すばらしい花ひろば、花にあまり関心のない私でさえ素晴らしく思え、特に女性は感動されたようでした。

なばなの里をあとにして道の駅月見の里南濃にて休憩。天候にも恵まれて会員相互の親睦が深まり心に残る楽しい一日でした。

お酒も出て非常に和やかな交流ができたように思いました。帰りの道の駅では海産物やおみやげ等をどっさり買い込んで無事帰路につきました。



地域のなかでいつまでも仲良く!

三ツ池老人クラブ

三ツ池老人クラブでは、できるだけ多くの会員が集まれるような機会をつくっています。

毎月 2 回の食事会では、老人憩いの家に集まって楽しく過ごしながらご飯をいただいています。単なる食事をとるだけではなく、みんなが集まることでいろんな会話が出来るということが一番の目的になります。「あの人今日は顔見えへんけど、身体でもこわしてるんと違うやろか?」「最近、こんなことがあったんよ」。人が集えば人の数だけ話が弾みます。

いつも集まっている場所に、いつも同じ笑顔が集まることは、私たち老人クラブが大切にしていることです。また、地域に貢献するという意味で自分たち出来ることをしていきたいと、除草作業やゴミ拾いなども行っています。

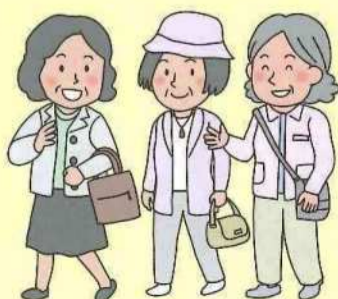
これからも、三ツ池老人クラブでは、みんなが楽しく、仲よく集まれるように活動をしていきたいと考えています。

編集後記

近頃、『人生100年時代』とか、『滋賀県が長寿県』と言われ、嬉しい気持ちになるのですが、キーワードは『健康維持・体調維持・元気な生活』なのかな? 直面している私達にとって、老人クラブでの仲間との活動が、健康の一助になればと思いつつ編集作業に取り組みました。

「愛の輪」の発行にご協力いただきありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

広報部員一同



高齢者自転車大会

平成30年9月28日に豊郷町体育館で、彦根・犬上地区大会の交通安全高齢者自転車大会が開催されました。豊郷町チームは見事、団体優勝。個人の部でも、西山幸治さんが優勝、北村進さんが2位入賞という素晴らしい結果を収める事ができました。県大会にも出場しました。



愛知・犬上老人クラブ大会

今年度の愛知・犬上老人クラブ大会は、11月12日に甲良町中央公民館で盛大に開催されました。式典では、豊郷町関係で、老人クラブ育成功労者として北川富男さん・北川敏男さん・藤野敏夫さんが、また、福祉篤行者として成宮一子さん・西田明夫さんが表彰を受けられました。活動事例発表会では、長野西老人クラブ長和会の活動の取り組みについての発表がありました。記念講話では、藤谷智泉さんの「マジック&トークショー」で楽しいひと時でした。来年度の開催は愛荘町になります。